



### 今年度の「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム」開催日程が決定！ ー福島県、宮城県で展覧会，講演会，体験教室を引き続き開催ー

独立行政法人国立科学博物館(館長:林 良博)は、平成24年度に続き、「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム」を福島県、宮城県で開催します。

「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム」では、恐竜アロサウルスの実物全身骨格標本などの展示会を現地の博物館施設等と協力して行うとともに、さまざまな講演会や体験教室のイベントを行います。

なお、福島県内の各会場(7箇所)ではスタンプラリーも実施されます。

平成24年度は、岩手県内の博物館施設等7箇所で展覧会を開催するとともに、併せて講演会10回、体験教室14回を実施しました。岩手県では延べ33,000人を超える方々に来場いただきました。



アロサウルスと記念撮影をする子ども達  
(岩手県・久慈琥珀博物館)



体験イベント:塗り絵した恐竜が画面のなかで3Dに!  
(岩手県立博物館)



トークイベント「三陸に暮らす海の動物たち」の様子  
(岩手県・岩手県立水産科学館)

#### 本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

事業推進部 連携協力課長

高尾 敏史

連携協力課 専門職員 久永 美津子

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9860, 9861 FAX:03-5814-9898

E-mail:renkyo@kahaku.go.jp

◎最新情報はホームページ (<http://www.kahaku.go.jp/>) に随時掲載いたします。

## 【これからの震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムの紹介】

アロサウルスの実物全身骨格が展示されるメイン会場と尾羽竜等の小型恐竜展示やステゴサウルスの実物上腕骨化石にさわられるサブ会場があります。

### 【宮城県】

#### メイン会場

- リアスアーク美術館(気仙沼市)  
【4月17日～5月12日】
- 仙台市科学館(仙台市)  
【平成26年3月18日～4月20日】

#### サブ会場

- 村田町歴史みらい館(村田町)  
【8月3日～9月29日】

### 【福島県】

#### メイン会場

- いわき市石炭・化石館(いわき市)  
【5月16日～7月21日】
- 福島県立博物館(会津若松市)  
【7月27日～9月16日】
- 小野町ふるさと文化の館(小野町)  
【10月5日～11月4日】
- 福島県文化財センター 白河館(まほろん)(白河市)  
【12月4日～平成26年2月9日】
- 猪苗代町体験交流館(猪苗代町)  
【平成26年2月11日～3月2日】

#### サブ会場

- 福島県立郡山自然の家(郡山市)  
【11月7日～12月15日】
- 国立那須甲子青少年自然の家(西郷村)  
【12月18日～平成26年1月10日】

※各会場では、化石のレプリカ作りや恐竜の講演会等の体験イベントを予定していますが、イベントの日程は各会場から随時広報されます。

※福島県内の各会場(7箇所)ではスタンプラリーを行います。3会場でスタンプを集めると景品がもらえます。

※震災復興・国立科学博物館コラボ・ミュージアムは国立科学博物館賛助会員、財団法人全国科学博物館振興財団の支援をいただいています。

# 震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム

## 震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムとは

東日本大震災被災地域の博物館を支援するとともに、現地の人々(特に子ども達)を元気づける事を目的に、国立科学博物館と被災地域である岩手県、宮城県、福島県を中心とする博物館等が連携して、「恐竜アロサウルスや標本レスキュー活動を紹介する展覧会」、「関連するテーマの講演会や体験教室」などの博物館活動を実施しています。平成25年度は、宮城県3箇所、福島県7箇所で開催いたします。



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

## これまでの実施状況(平成25年4月14日現在)

平成24年6月～平成25年4月までで岩手県内7箇所での展覧会を開催し、33,000人を超える来場者がありました。

また、展覧会にあわせ、講演会10回、体験教室14回を実施し、延べ1,800人の参加者がありました。

引き続き、被災地のニーズに応じた博物館活動を実施してまいります。

## 実施の成果(岩手県)

- ・県内だけでなく県外との博物館どうしの連携が促進され、本コラボミュージアムをきっかけとして現地の博物館活動が活発になった。
- ・現地博物館関係者にとって、博物館活動再開に向けた希望を与えることが出来た。
- ・被災地以外の博物館関係者にとっても他館との連携協力の在り方についてひとつのモデルとなった。

アロサウルスの実物全身骨格が展示されるメイン会場と尾羽竜等の小型恐竜展示やステゴサウルスの実物上腕骨化石にさわられるサブ会場があります。

### メイン会場

#### アロサウルス実物全身骨格展示

##### 【宮城県】

- ①リアスアーク美術館(気仙沼市)  
【4月17日～5月12日】
- ②仙台市科学館(仙台市)  
【平成26年3月18日～4月20日(予定)】

##### 【福島県】

- ③いわき市石炭・化石館(いわき市)  
【5月16日～7月21日】
- ④福島県立博物館(会津若松市)  
【7月27日～9月16日】
- ⑤小野町ふるさと文化の館(小野町)  
【10月5日～11月4日】
- ⑥福島県文化財センター 白河館(まほろん)  
(白河市)【12月4日～平成26年2月9日】
- ⑦猪苗代町体験交流館(猪苗代町)  
【平成26年2月11日～3月2日】

### サブ会場

#### 小型恐竜やステゴサウルス上腕骨化石展示

##### 【宮城県】

- ⑧村田町歴史みらい館(村田町)  
【8月3日～9月29日】

##### 【福島県】

- ⑨福島県立郡山自然の家(郡山市)  
【11月7日～12月15日】
- ⑩国立那須甲子青少年自然の家  
(西郷村)  
【12月18日～平成26年1月10日】



## 来場者からのメッセージ(岩手県内会場での主なもの)

- ・アロサウルスは思ったより大きくてびっくりした。
- ・(陸前)高田に来てくれてありがとう。夏休みの思い出になりました。
- ・展示作業お疲れ様でした。恐竜のこと勉強になりました。
- ・津波で亡くなった息子に博物館が再開したことを報告します。ありがとうございました。
- ・早く博物館が再開することを願っています。

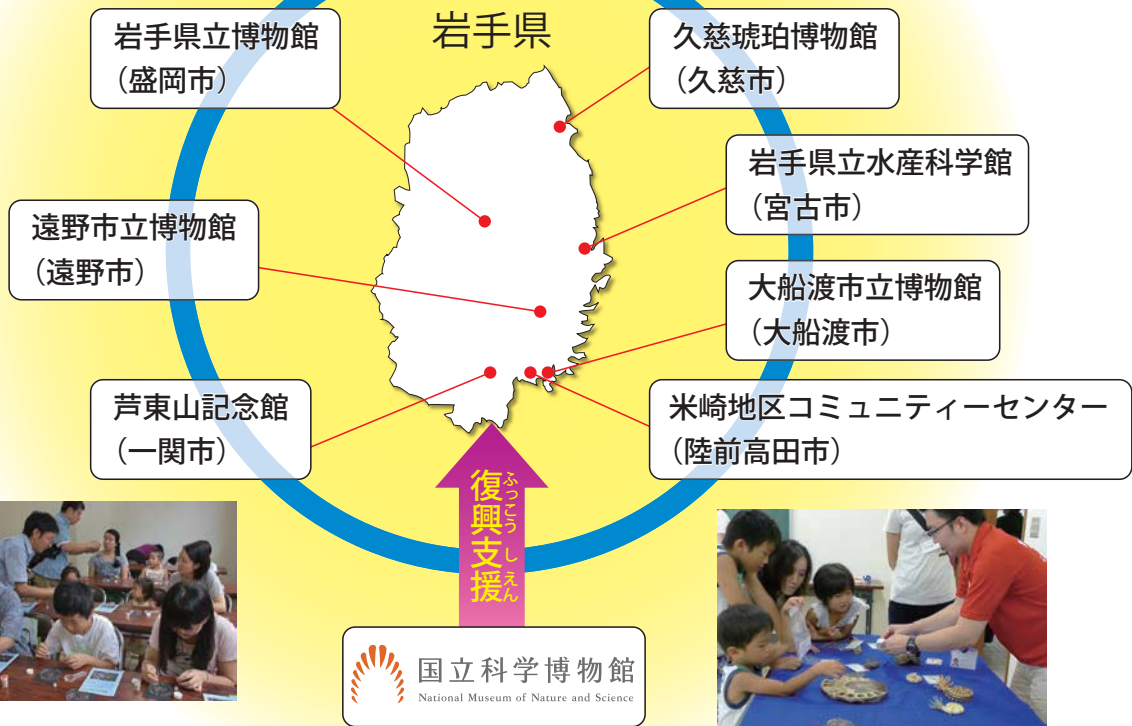




# 震災復興・国立科学博物館 コラボミュージアム 平成24年度報告

## 震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムとは

東日本大震災被災地域の博物館を支援するとともに、現地の人々（特に子ども達）を元気づける事を目的に、国立科学博物館と被災地域である岩手県、宮城県、福島県を中心とする博物館等が連携して、「恐竜アロサウルスや標本レスキュー活動を紹介する展覧会」、「関連するテーマの講演会や体験教室」などの博物館活動を実施しています。平成24年度は、岩手県内7地域で開催しました。



## 実施状況

6月の久慈琥珀博物館（久慈市）を皮切りに、遠野市立博物館（遠野市）、陸前高田市立博物館（会場：米崎地区コミュニティセンター）（陸前高田市）、岩手県立博物館（盛岡市）、大船渡市立博物館（大船渡市）、芦東山記念館（一関市）、岩手県立水産科学館（宮古市）の7ヶ所で展覧会を開催し、30,000人を超える来場者で賑わいました。

また、展覧会に合わせ講演会10回、体験教室14回を実施し、延べ1,800人以上の皆様にご参加いただきました。

※平成24年度の震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムは、国立科学博物館賛助会員、財団法人全国科学博物館振興財団および公益財団法人三菱商事復興支援財団の支援をいただきました。





# 震災復興・国立科学博物館 コラボミュージアム 平成24年度報告

## ①久慈会場

### 「恐竜アロサウルス～琥珀と恐竜の大地・久慈～」

場 所 久慈琥珀博物館  
実施期間 平成24年6月27日(水)～8月7日(火)  
来館者数 4,299人

久慈琥珀博物館にて、恐竜アロサウルスを中心とする展覧会を開催しました。

開催に先立って、アロサウルス全身骨格の公開組み立て内覧会を行い、地元の小学生達が見学に訪れました。

会期中、国立科学博物館の真鍋研究主幹により、「最新恐竜学」と題した講演会と地層の発掘体験イベントを展覧会に併せて開催しました。

久慈琥珀博物館では、約4,300人の来館者が訪れました。



アロサウルスと記念撮影をする地元の子ども達



発掘体験にて、真鍋研究主幹に質問する参加者達

## ②遠野会場

### 「恐竜標本がやってくる～恐竜に触ってみよう～」

場 所 遠野市立博物館  
実施期間 平成24年7月20日(金)～9月7日(金)  
来館者数 7,095人

遠野市立博物館にて、尾羽竜などの小型恐竜の展示や、ステゴサウルスの上腕骨の実物化石などの体験展示を中心とした展覧会を実施し、約7,000人の来館者で賑わいました。

会期中、国立科学博物館の真鍋研究主幹による「とりになったきょうりゅうのはなし」と題した絵本の読み聞かせと群馬県神流町恐竜センターの職員による化石のレプリカ作りの体験教室が行われました。



ステゴサウルスの上腕骨(実物化石)に触れる地元の子ども達



尾羽竜などの恐竜展示を見学する地元の子ども達

## ③陸前高田会場

### 「アロサウルスがやってきた」

場 所 陸前高田市立博物館(米崎地区コミュニティーセンター)  
実施期間 平成24年8月11日(土)～8月19日(日)  
来館者数 1,511人

陸前高田市では、津波により陸前高田市立博物館及び海と貝のミュージアムが全壊してしまいました。

今回のコラボミュージアムに際して、現地博物館及び陸前高田市役所関係者の努力とともに、岩手県内の多くの博物館関係者の協力、また、当コラボミュージアムに賛同する全国の博物館関係者の協力により、地域コミュニティーセンター(米崎町)にて展覧会、体験教室が開催され、9日間で1,500人を超える来場者で賑わいました。

展覧会では、アロサウルスの他、津波により流出し奇跡的に発見された現地所蔵品の展示や被災後に国立科学博物館で修復保存されたツチクジラの剥製標本の様子など、地元ゆかりの展示も行われました。

また、会場に設置したメッセージボードには、博物館の再開に向けた励ましのコメントが多く寄せられました。



レプリカ作りイベントは200人近い子ども達が参加



ツチクジラのレスキュー活動のパネルを見学する地元の子ども達

来場者の皆さんからたくさんのメッセージをいただきました



## ④盛岡会場

### 「恐竜アロサウルスがやってきた」

場 所 岩手県立博物館  
実施期間 平成24年9月11日(火)～12月9日(日)  
来館者数 13,330人

盛岡市の岩手県立博物館にて、恐竜アロサウルスと標本レスキュー活動の紹介を中心とした展覧会を開催し、13,000人の来館者に恵まれました。

会期中に国立科学博物館の真鍋研究主幹、岩手県立博物館の大石首席専門学芸員による恐竜や化石の講演会の他、化石のレプリカ作り体験やデジタル技術をつかった恐竜めりえの体験イベントを実施しました。



アロサウルスの展示



塗り絵した恐竜が画面のなかで3Dに!







# 震災復興・国立科学博物館 コラボミュージアム 平成24年度報告

## ⑤大船渡会場

### 「すごいぞ!肉食恐竜 vs 草食恐竜」

場 所 大船渡市立博物館  
実施日時 平成24年12月12日(水)～平成25年4月14日(日)  
来館者数 3,765人

大船渡市立博物館にて、肉食恐竜アロサウルスと草食恐竜マラウイサウルスの全身骨格を中心とした展覧会を4月14日まで開催中。標準レスキュー活動についてもパネルと映像を展示しています。

開催前のプレイベントとして、群馬県神流町恐竜センターの職員による化石のレプリカ作り体験、会期中には NPO 法人大阪自然史センターの協力による恐竜にちなんだ体験イベントが開催されました。

また、今後も国立科学博物館の真鍋研究主幹の恐竜トーク等、様々なイベントを開催予定です。



アロサウルスの展示

体験イベントも大賑わい

## ⑥一関会場

### 「恐竜がやってきた!」

場 所 一関市芦東山記念館  
実施日時 平成25年1月11日(金)～4月14日(日)  
来館者数 855人

一関市の芦東山記念館にて、尾羽竜、始祖鳥等の展示で恐竜から鳥への進化を解説すると共に、江戸時代の龍の絵巻物と龍骨(大型脊椎動物の化石)を展示しました。

また、国立科学博物館の真鍋研究主幹の恐竜トーク、新潟大学大学院生による恐竜のワークショップ等も開催されました。



展示の様子

ワークシートを活用したワークショップ

## ⑦宮古会場

### 「恐竜時代の海 VS 陸」

場 所 岩手県立水産科学館  
実施日時 平成25年1月18日(金)～3月31日(日)  
来館者数 2,841人

宮古市の県立水産科学館にて、魚竜やフタバズキリュウ等の首長竜(海)と、デイクス等の恐竜(陸)の比較展示と、標準レスキュー活動の紹介を展示しています。

国立科学博物館の窪寺コレクションディレクターと東京大学大気海洋研究所の先生方による「三陸に暮らす海の動物たち」の講演会、国立科学博物館の真鍋研究主幹の恐竜トークが開催されました。また、今後も化石のレプリカ作り体験イベントを開催します。



展示の様子

真鍋研究主幹の展示解説

## ○スタンプラリーの実施

開催館相互の連携を深めるとともに、現地のみなさんにより多くの博物館活動を提供することをねらいとし、岩手県内7会場の開催期間中(平成24年6月27日水)～平成25年4月14日(日))を対象として、スタンプラリーを実施しました。

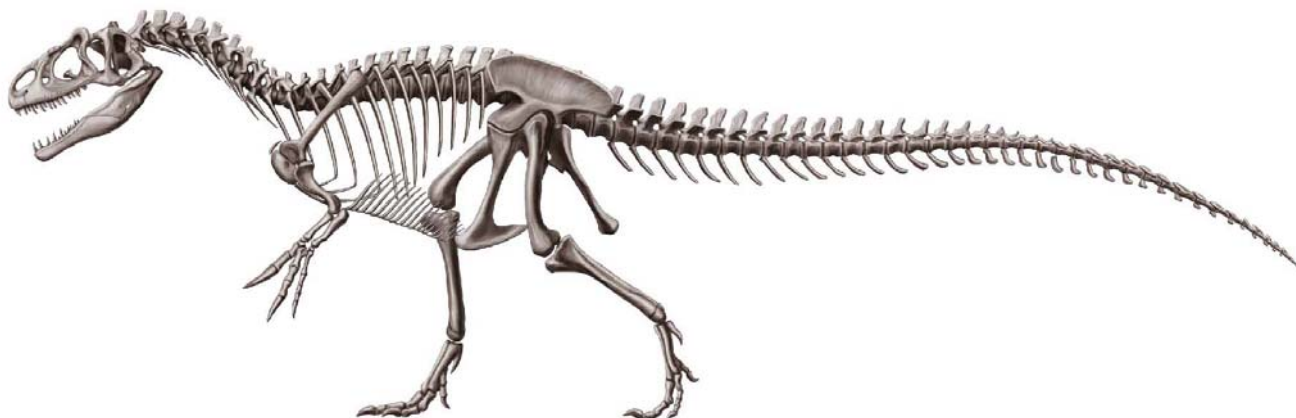
7会場中3カ所来館でポストカードと缶バッジがもらえ、7ヶ所すべて来館した方には、記念品が贈られました。



## ○24年度実施の成果

- ・本コラボミュージアムをきっかけとして現地の博物館活動が活発になるとともに、現地での博物館活動の理解が深まりました。
- ・現地の皆さんに、展覧会、体験イベント等の博物館活動を提供できただけでなく、現地博物館関係者にとっても博物館活動再開に向けた希望を持つきっかけになっています。
- ・岩手県内だけでなく県外も含めた博物館どうしの連携が促進されました。また、被災地以外の博物館関係者にとっても他館との連携協力の在り方についてのモデルとなっています。

# アロサウルス福島県巡回中！！



© Utako Kikutani

アロサウルスの実物全身骨格が展示されるメイン会場と  
尾羽竜等の小型恐竜展示やステゴサウルスの実物上腕骨化石にさわられるサブ会場があります

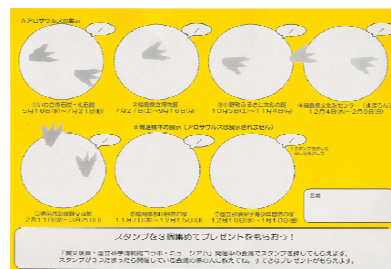
## メイン会場 アロサウルス実物全身骨格展示

- ①いわき市石炭化石館 【5月16日～7月21日】
- ②福島県立博物館 【7月27日～9月16日】
- ③小野町ふるさと文化の館 【10月5日～11月4日】
- ④福島県文化財センター白河館(まほろん)  
【12月4日～平成26年2月9日】
- ⑤猪苗代町体験交流館  
【平成26年2月11日～3月2日】

## サブ会場 尾羽竜(レプリカ)等や ステゴサウルス実物上腕骨化石展示

- ⑥福島県立郡山自然の家  
【11月7日～12月15日】
- ⑦国立那須甲子青少年自然の家  
【12月18日～平成26年1月10日】

## スタンプラリー実施中



7つの会場に恐竜スタンプがあります。  
スタンプ3個集めるとプレゼントが  
もらえます。

「国立科学博物館コラボミュージアム」は、国立科学博物館と各地の博物館等が協力して、その地域ならではのテーマで展覧会や講演会・体験教室などの博物館活動をおこなうものです。

※震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムは国立科学博物館賛助会員の支援をいただいています。